



山北っ子

心豊かで たくましい児童の育成
 ～やさしい子 考える子 がんばる子～
 山北小学校だより 第3号 文責 坂井ルミ

最後まであきらめず 赤白かんけいなく力をあわせ 最高の運動会にしよう

当初、雨が心配された運動会でしたが、季節外れの暑さにも負けず、真剣に練習に取り組む子ども達の頑張りが天にも届き、快晴の中で運動会を開催することができました。連休明けからスタートした練習も日に日に気合いが入り、今に満足せず、もう一息もう一息とさらなる高みを意識して取り組む子ども達の姿が増えていき、集団の力を感しました。

当日の徒競走ではゴールまで懸命に走り切る姿、団体競技では仲間と声を掛け合いながら力を合わせる姿、表現運動では心をつにして演技する姿など、どの場面にも子どもたちの真剣な思いがあふれていました。勝敗だけでなく、「みんなでよりよい運動会をつくろう」という気持ちを大切にしながら頑張る姿は、とても頼もしく感じられました。どんな場面でも一生懸命に最後まであきらめず挑戦する姿は、見ている人の心を大きく動かししました。仲間を応援する声や拍手、競技が終わった後の笑顔からは、学年や赤白を越えて支え合う温かさを感じられ、子どもたちの成長を強く実感する運動会となりました。

子どもたちは運動会を通して、「協力することの大切さ」や「最後までやり抜くことの素晴らしさ」をしっかりと学んでくれたことと思います。

また、日頃の学校生活でも、朝のあいさつや学習への取組など、それぞれの場面で「やさしい子」「考える子」「がんばる子」の姿が少しずつ広がっています。子どもたちの成長は、一日で大きく変わるものではありません。しかし、日々の積み重ねの中で確かな力となって育っていきます。

これから梅雨の時期を迎えます。気温や湿度の変化により体調を崩しやすい時期でもありますので、学校でも子どもたちの健康や安全に十分配慮しながら教育活動を進めてまいります。引き続き保護者・地域の皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願い致します。



【6月は「心のきずなを深める月間」です】学校・家庭・地域が連携し、児童同士だけでなく、児童と職員、保護者や地域住民等との「心のきずな」を深め、いじめを許さない学校・学級づくりを目指して、いじめの未然防止に重点をおいた取組を実施していきます。

「こころ」はだれにも見えないけれど「こころづかい」は見える

「思い」は見えないけど「思いやり」はだれにでも見える

その気持ちをカタチに

宮澤章二 「行為の意味より」

